

## 教科目名 保健・体育 (Health &amp; Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 科目)

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 39 時間)

担当教員 : 川内谷一志, 渋谷 武 (全クラス担当)

授業の概要				
スポーツテスト(運動能力テスト・体力診断テスト)を実施して,個人の体力を把握させる. 実技指導では,積極的,意欲的な参加と活発な活動を目指す.スポーツの実践を通じて,責任感を持ち,協調性のある行動がとれるように,努力する.スポーツマンシップについても十分な理解を促す.				
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)(B1), JABEE 目標(a)(c)		
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする.(ゲームと記録)				
(2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し,ゲームを楽しむことができるようにする.(ゲーム)				
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検	
1,2	1. 陸上競技	3 年次に学習した走高跳を男女ともに復習する. 個々の記録測定を行う.	【理解の度合い】	
3,4	2. スポーツテスト	{ 運動能力テスト(4 種目), 体力診断テスト(4 種目)} を正確に測定する.		
5-7	3. バレーボール	男女混合チームもあり,3 年次よりさらに各個人技能を生かしたゲームの展開と審判法の習得.		
8-11	4-1. ソフトボール(軟式野球) (男子)	試合に重点を置いて指導する.交代で個人別試合結果表を記入させる.		
	4-2. ソフト(硬式)テニス (女子)	ダブルスのゲームを学習する.		
12,13	5. 水泳	クロール, 平泳ぎ, 横泳ぎ, 背泳ぎの習得.		
14-16	6-1. 軟式野球(男子)	個人技能をさらに向上させ,試合が楽しくできるようにする.試合結果を記録する. 個人技能の習得.ゲームによるルール・審判法の習得.	【理解の度合い】	
	6-2. 硬式テニス(女子)			
17-20	7-1. サッカー(男子)	個人技能の習得,ゲームによるルール・審判法の習得. 個人の技能の習得後,ダブルスのゲームを学習する.		
	7-2. 卓球(女子)			
21-23	8. バスケットボール	個人技能の習得.ゲームによるルール・審判法の習得.		
24-26	9. バドミントン	男女共通の種目として,個人技能の習得.ダブルスのゲームを学習する.		
履修上の注意	授業は時間厳守とする.			【総合達成度】
教科書	なし			
参考図書	秋山兼範, 麻生紘二ほか,「最新スポーツルール」,大修館書店			
関連科目	なし			
総合評価	達成目標の(1)から(3)について実技で評価する.  総合評価 = 授業で行った各種目の実技点の平均  * 総合評価は,前期評価と後期評価を平均して評価する. * 総合評価 60 点以上を合格とする.		【総合評価】 点	

